

【院内感染セミナー】



障害者歯科臨床における感染対策の理論と実践

石原総合歯科医院
理事長 石原宏一

2023 年でいわゆる新型コロナウイルスの流行に一応の終止符が打たれましたが、臨床現場だけでなく日常生活でも引き続き注意が必要です。新型コロナウイルス流行前と比較し患者さんの感染対策への関心は数段アップしているように感じます。

このような時こそ特定のウイルス対策だけに偏らず、いま一度、感染管理の原点に立ち戻り、グローバル・スタンダード（世界標準）を確認しておくことが必要です。

今回の講演ではガイドラインをはじめとする理論を知って頂いた上で、どのようにして臨床現場に適合させるかを解説していきたいと思います。感染対策は「絵に描いた餅」ではありません。何より実践が大切です。

しかし、感染対策を実施するうえで医療機関の規模や設備により投入できるリソースが限られている事は事実です。中央材料部門があるような病院と比べ、歯科診療所は機材やマンパワーの点で劣ることは否めませんが、現状の設備の性能やマンパワーでも知恵と工夫によって現状のリソースを最大限に活かし、大きな病院にも負けない必要十分な感染対策を行うことは可能です。

よく聞くボヤキに「歯科は特殊だから感染対策には手間とコストがかかる」と聞きますが特殊ならそれに適した知恵を絞るべきです。歯科診療所には、規模に応じたなりの闘い方があります。戦力が少数であるなら、指揮官が優秀であるか、精鋭部隊であるか、あるいは両方であればなお良いわけです。

本講演はこのような事を基に院内感染防止対策に係る標準予防策及び感染経路別予防策。新興感染症に対する対策。及びインフルエンザ 等感染症に対する対策・発生動向になどについて、お話して参ります。